

シグマ研究委員会

ファイル作成ワーキング・グループ会合議事録

日 時 昭和 58 年 8 月 29 日 (月) 13:30～17:30
場 所 原研本部第 5 会議室
出席者 浅野(住友原工), 飯島(NAIG), 奥田(住友原工), 宝珠山(FBEC),
松本, 菊池, 成田, 浅見(原研)
オブザーバ : 五十嵐(原研)

配布資料

1. 前回議事録
2. FM83-1 JENDL-2 Pointwise Data
3. FM83-2 Comment Data, Document 原稿作成成分担表
4. FM83-3 JENDL-3 収納核データ
- 5.

議 事

1. 前回議事録確認
資料 1 により確認を行い, 一部修正の上了承された。
2. 新メンバー紹介
新メンバーの奥田氏, 青木氏が紹介された。
3. 一般報告
最近の運営委員会等での審議事項について浅見氏から説明があった。
4. JENDL-2 編集の経過報告
成田氏から資料 2 (FM83-1) により JENDL-2 の pointwise data について説明があった。
浅見氏から本年初めから JENDL-2 が公開になるまでの編集上の経緯および問題点等について説明があり, 討議を行った。主な議論は,

- FIZCON の結果にもとづくデータの修上の問題点
- Fenat ファイルの処理
- Hf, Cu の編集の際の問題点
- RESEND の問題点

等であった。これらの議論に引き続いて File 1 の comment deta および document の原稿の執筆依頼および原稿の集り状況について資料 3 により説明があった。

3. JENDL-2 編集上の問題点・反省点

今後、ファイルを作成したときのチェック方法について議論を行い、当人は CHECKER, FIZCON を流すとともにプロット図も作成して十分に確認することにした。なお、これらの Run を 1 回の入力のできるようにするため、成田氏が JCL をつくることにした。

また、JENDL-3 は ENDF/B-V のフォーマットを使用することから、次回に ENDF/B-IV と V とのフォーマットの違いについて中川氏（原研，核データセンター）に説明してもらうことにした。

4. 今後の進め方

(1) File 1 の作成

原稿を 10 月末締切りでさいそくし、ファイル化を 12 月末までに完了することで進めることにした。

(2) FP ファイル

菊池氏から FP 核データ WG での評価の状況について説明があり、作業はかなり遅れているとのことであった。討議の結果、FP 核データ WG から作業の現状についてのレポートを出してもらい、それにもとづいて作業の協力方を検討することにした。

この関連で次回に ASREP の説明をしてもらうことにした。

(3) レポートの作成

原稿の締切を 10 月末としてさいそくし、年内に原稿をまとめることにした。なお、現在集っている分をとりあえず、JAERI-memo で発行することにした。

(4) データ集の作成

JENDL-2 の評価値のプロット図はできているので JAERI-M で発行することにし、次回にサンプルで形式を検討することにした。

実験データと重ねたプロット (MF=3 のみ) は内部資料としてルーズリーフ式で発行することで検討することにした。

その他に、数値リストの発行も検討することにした。

5. JENDL-3 分担表

浅見氏から資料 4 (83-3) により JENDL-3 の評価分担案について説明があり、この資料を 9 月 2 日の運営委に提出することが了承された。

この議論の中で、JENDL-2 データの見直し、再評価の判断はこの WG でやるべきだとの意見があった。

今回は、10月14日(金) 原研本部で行う予定